

第4章 「農業王国うつのみや」戦略プラン

【プラン設定の考え方】

「農業王国うつのみや」戦略プランは、農業の成長産業化を目指す「産業政策」と多面的機能の維持・発揮を目指す「地域政策」の視点から、「稼げる農業」の実現と「市民が支える農業・農村」の確立に向けて、それぞれ2つのプランを設定し、関連性の高い施策事業を選定し、横断的に取り組む4つのプロジェクトとして位置付けたものです。

これらの施策事業は、今後5年間で重点的に取組を進めていきます。

「農業王国うつのみや」戦略プラン一覧



「稼げる農業」実現プラン

生産性向上プロジェクト

大規模経営体の確保・育成や生産技術の高度化、生産基盤の整備等を進め、生産性の向上を図ります。



「市民が支える農業・農村」確立プラン

農の保全参画プロジェクト

地域農業の支え手や守り手の確保・育成に取り組むとともに、住民主体の農村づくりを推進することで、市民参画による良好な営農環境の維持・保全を図ります。

売れる農産物づくりプロジェクト

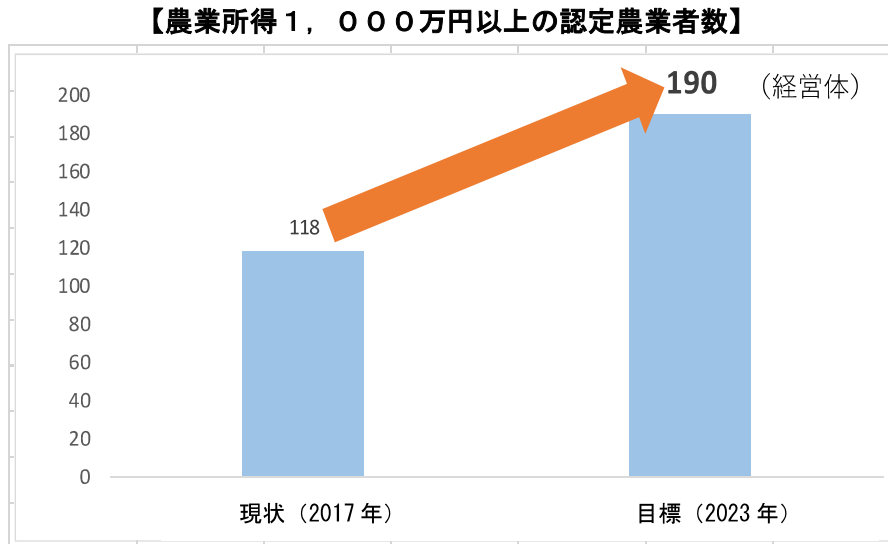
多様な販売先を確保するとともに、市場ニーズに応じた農産物の生産振興やブランド化等による付加価値の創出等により、売上げの最大化を図ります。

宇都宮産農産物買い支えプロジェクト

農育・食育体験活動等を通じ、地域の「食」や「農」を守る市民意識を醸成することにより、宇都宮産農産物の購入を促進し、持続可能な農業の確立を図ります。

産業 「稼げる農業実現」プラン

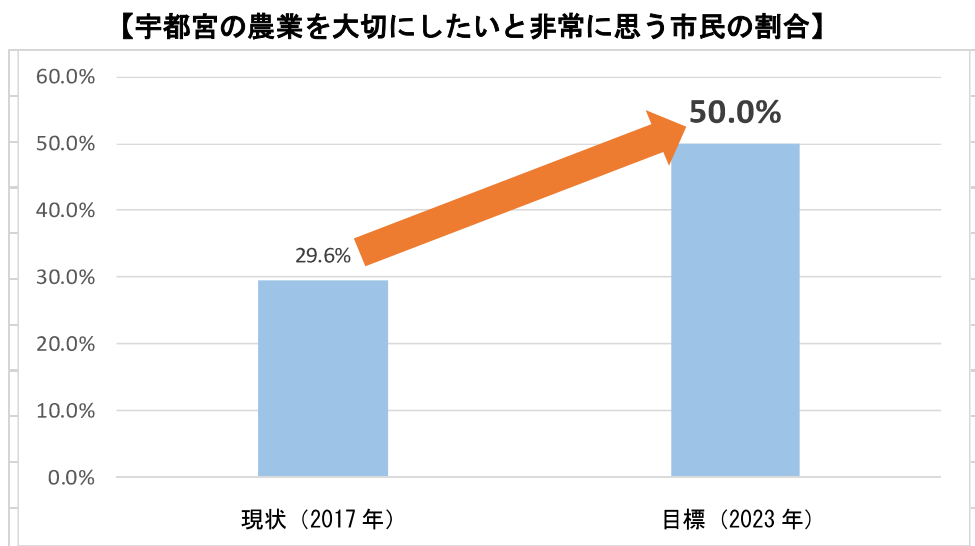
「稼げる農業実現」プランは、農業所得1,000万円以上の認定農業者を、現在の118経営体から、190経営体に増やすことを目標として推進します。



※ 2017年度の国税庁の統計情報によると、栃木県内の全産業で、所得1,000万円以上の方は全体の4.5%であることから、栃木県内全産業の値を超え、成長産業となる目標として、「農業所得1,000万円以上の認定農業者数」を増やすことを掲げるものです。(目標値である190経営体は、全農業者の約4.8%)

地域 「市民が支える農業・農村確立」プラン

「市民が支える農業・農村確立」プランは、宇都宮の農業を大切にしたいと非常に思う市民の割合を、現在の29.6%から、50.0%を増やすことを目標として推進します。



産業

「稼げる農業」実現プラン

～「売れる農産物」を「効率的に生産する」稼ぐ力を高めます～

「稼げる農業」には、生産コストを抑える取組と販売量と販売単価を高める取組が必要です。

$$\text{農業所得} = \frac{\text{販売量} \times \text{販売単価}}{\text{売上}} - \frac{\text{生産コスト}}{\text{効率性}}$$

プロジェクト1

生産性向上プロジェクト

本市農業の生産性向上に向けて、農業経営の法人化等の促進により効率的に生産活動を行う大規模な経営体の確保・育成に取り組むとともに、ICT等の導入による生産技術の高度化や水田の大区画化等による効率的な生産基盤の整備などを進め、目標として「集落営農組織数」を増やししながら、「担い手への農地集積率」を高めることを目指します。

【成果指標】

	現状 2017年	目標 2023年
目標1 集落営農組織数	25経営体	40経営体
目標2 担い手への農地集積率	52.7%	80%

	関連する施策事業	施策体系上の位置付け
担い手の農業経営 の大規模化	農業経営の法人化等の促進	基本目標 I-1-(1)-②
	担い手への農地の面的集積の促進	基本目標 I-1-(1)-⑤
農地のフル活用	水田の再整備・大区画化	基本目標 I-2-(1)-①
露地・施設園芸の 振興	ICTの導入の促進	基本目標 I-3-(1)-①
	農業機械等の導入促進	基本目標 I-3-(1)-③
	露地園芸の生産拡大	基本目標 I-3-(2)-②
	施設園芸の生産拡大	基本目標 I-3-(2)-①
	技術・施設等の農業経営の継承	基本目標 I-1-(2)-③

プロジェクト2

売れる農産物づくりプロジェクト

市場で売れる農産物づくりに向けて、国内外市場のニーズを捉えながら多様な販売先を確保するとともに、需要に応じた農産物の生産振興やブランド力の強化等による付加価値の創出等により販売量と販売単価の最大化を図り、目標として、直売、通販、契約栽培など、生産者が価格形成に関わることができて有利販売につながり、今後も販路の拡大が期待できる「直売その他直販額」を増加させることを目指します。

【成果指標】

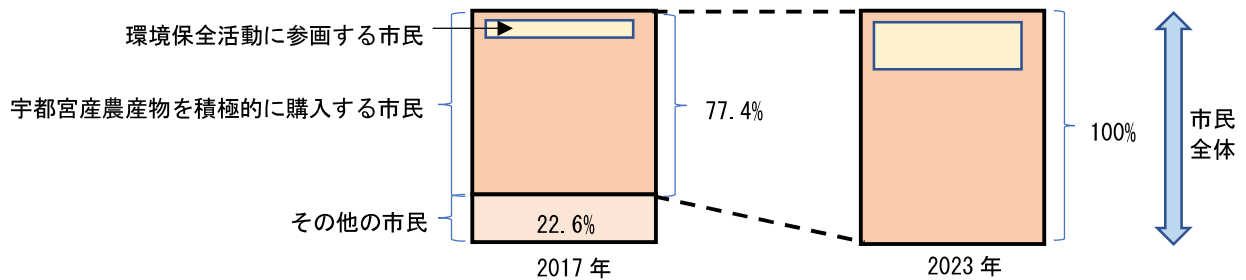
	現状 2017年	目標 2023年
目標 直売その他直販額（直売、通販、契約栽培等）	129億円	153億円

※ 生産者が価格形成に関わることができ、有利販売につながる販路を通じた売上額

関連する施策事業		施策体系上の位置付け
市場ニーズへの対応	国内外市場ニーズの収集・分析 需要に応じた米の生産振興 需要に応じた業務用農産物の生産振興	基本目標Ⅱ-1-(1)-① 基本目標Ⅱ-2-(1)-① 基本目標Ⅱ-2-(1)-②
付加価値の向上	ブランド製品の品質向上と生産拡大 直売所等の充実・強化	基本目標Ⅱ-2-(2)-① 基本目標Ⅱ-3-(1)-②

地域 「市民が支える農業・農村」確立プラン ～「食の実り豊かな農地・農村を支える」地域の力を高めます～

「市民が支える農業・農村」を確立するため、多面的機能の維持・向上に向けた環境保全活動等への参画を促進するとともに、宇都宮産農産物の積極的な購入促進等の取組が必要です。



プロジェクト3 農の保全参画プロジェクト

市民参画による良好な営農環境の維持・保全を図るため、担い手を支える兼業農家等の農業従事者を維持するための仕組みづくりや、引き受け手のない農地の守り手となる経営体への支援、環境保全活動への参画促進、環境に配慮した営農の推進などにより地域ぐるみで農村環境を支える体制づくりに取り組み、目標として、「環境保全活動の市内農地カバー率」を高めることを目指します。

【成果指標】

	現状	目標
	2017年	2023年
目標		
農業振興地域農用地区域における環境保全活動カバー率	40.3%	80%

関連する施策事業		施策体系上の位置付け
持続可能な営農環境の形成	担い手と兼業農家等が支え合う仕組みづくり 地域農業・農村の守り手の確保・育成	基本目標Ⅲ-1-(1)-① 基本目標Ⅲ-1-(1)-②
多面的機能の維持・向上	農村の自然環境・景観の保全 住民主体の農村づくりの推進 環境にやさしい農業の推進	基本目標Ⅲ-1-(2)-① 基本目標Ⅲ-1-(2)-③ 基本目標Ⅲ-1-(2)-⑤

プロジェクト4

宇都宮産農産物買い支えプロジェクト

市民が宇都宮産農産物を購入することを通じて、農の恵みを享受し、農や食の大切さの理解促進を図るため、市民が手に入れやすい仕組みづくりを進めるとともに、農育・食育体験活動等の農とのふれあいを通じ、地域の「食」や「農」を守る市民意識の醸成に取り組み、目標として、「宇都宮産農産物を積極的に購入する市民の割合」を増やすことを目指します。

【成果指標】

	現状 2017年	目標 2023年
目標 宇都宮産農産物を積極的に購入する市民の割合	77.4%	100%

関連する施策事業		施策体系上の位置付け
食と農の大切さの理解促進	宇都宮産農産物の購入意欲の喚起 学校給食等における地産地消の推進	基本目標Ⅱ-3-(2)-① 基本目標Ⅱ-3-(2)-②
農とのふれあい	農と食に関する意識啓発・魅力発信 農育・食育体験活動等の充実・強化 グリーン・ツーリズムの推進	基本目標Ⅱ-3-(2)-③ 基本目標Ⅱ-3-(2)-④ 基本目標Ⅲ-2-(2)-①
身近で購入できる場の拡大	量販店等における宇都宮産農産物の流通拡大 直売所等の充実・強化 生産工程の見える化 都市農地近隣における直売の促進	基本目標Ⅱ-3-(1)-① 基本目標Ⅱ-3-(1)-② 基本目標Ⅱ-3-(3)-① 基本目標Ⅲ-3-(1)-②